桜川市地域おこし
Sakuragawa City Community-reactivating Cooperator Squad
協力隊新聞
2023年 6月号 Vol.20
｜発行｜地域おこし協力隊3名　編集長　三村邦彦　桜川市ヤマザクラ課　｜電話｜0296-58-5111

参加者募集「笠間みち・・・忘れられた古道を歩くプチ探検」

～是非ご一緒に、歴史と自然の山道を歩きましょう！～

かつて集落から集落への移動はとにかく徒歩（あるいは駕籠）でした。その多くは車社会の到来によって失われたり忘れ去れられたりしましたが、真壁の町から笠間に向かう通称「笠間みち」が実は今も残っています。江戸時代に笠間藩の殿様が真壁の陣屋に巡視の際に通ったり、幕末にはあの吉田松陰も歩いたと言われる歴史ある道です。昭和の時期までは花の入公園近くの水車小屋に、笠間方面からも小麦を背負って人の往来があった仕事の道でもあります。この度その道の保全に取り組んでいる団体「里山みちと歴史みちを楽しむ会」のご協力のもと、古道を巡るトレッキングを開催することとなりました。軽装で歩ける3時間ほどのコースで、普段近隣の山歩きをしている人であればご参加いただけます。花の入公園に集合し笠間みちについて簡単な説明を受けいざ出発。古道を通り途中昼食を摂りながら、山の反対側の木植集落を目指します。最後は出発地点まで車にて送迎し午後1時過ぎには解散予定です。参加ご希望の方は、地域おこし協力隊の三村までご連絡ください。当時の人たちがどのような道を歩いていたのか、ご自身の足で確かめてみませんか?

笠間みちルートの探索模様

ゴール地点：かつて殿様が立ち寄ったと伝わる旧家

- **開催日時**：6/24（土）（雨天順延（6/25））
- **募集人数**：先着10名
- **集合場所**：花の入公園駐車場
- **スケジュール**：

9時	集合　コースの説明、準備体操
9時30分	古道巡り開始　途中稜線にて休憩/昼食
12時半	木植集落到着（木植から花の入公園まで車にて送迎）
13時	花の入公園解散

- **持ち物など**：山道を歩ける装備、昼食、飲み物、シート、暑さ対策、雨具（できればトレッキング用のシューズが望ましいです。ストックが必要な方はご持参下さい。）
- **会費**：500円（保険料として徴収させていただきます）
- **参加申し込み**：協力隊員三村まで問い合わせの上、参加人数、連絡先をお知らせください。（電話番号：090-7842-4339）

これからもこのようなプチ探検を企画しますので、皆さん奮ってご参加ください。

笠間みちルートマップ

プチ探検ブランド ➡ 地域おこし協力隊 もっともっと桜川 Sakuragawa

50年続く取り組み・・・ヤマメの放流会

～自然塾 つくば渓流会の活動に同行しました～

ゴールデンウィーク最終日（5/7）、筑波山系のある沢でヤマメの放流会が行われました。「自然塾 つくば渓流会」主催のこの催しは、ヤマメの稚魚の放流活動を通じ、子どもたちに自然環境の保全を体験してもらおうと、なんと50年間も続けられているそうです。

この日はあいにくの雨模様でしたが、多くの子どもたちが集まってくれ、放流が行われました。何千というヤマメが自然に還り、ひとまわりもふたまわりも大きくなって帰ってきてくれることでしょう。参加してくれた子どもたちのように・・・（三村）

「怪盗どうむくんからの挑戦状」を制覇して特製ストラップをゲットせよ！

真壁伝承館にある歴史資料館（9:00-16:30開館、月曜休館）では、桜川の歴史が時系列に分かるよう常設展示がされています。現在「収蔵品展」の開催を記念して賞品つきクイズ「怪盗どうむくんからの挑戦状」が始まりました。展示物を巡りながらクイズに答えると真壁城のキャラクター「どうむくん」の特製ストラップをゲットできるというものです。小中学生だけでなく、大人の方にとっても歴史の勉強になりますよ。歴史資料館、あるいは伝承館の窓口でクイズ用紙を入手したら、展示物を回りながら回答しましょう。答えがわかったら伝承館受付で賞品を受け取ってください。また館内には「どうむくん」と一緒に写真が撮れるコーナーを用意しています。ハッシュタグをつけてSNS投稿をお願いします。

主催の文化財課では、市内の歴史的な遺産を調査、保全しながら、市民の方々にもっと知っていただけるようこのような取り組みをしています。同時開催の「史跡真壁城跡令和4年度出土品展」では、城跡の発掘最前線についても紹介しています。地元の歴史、文化の実物に触れながら、桜川市の歴史博士を目指してください。　（三村）

荒井学芸員と賞品の特製ストラップ

パネルと一緒に写真を撮ろう!
モデルは川又学芸員

「美味しい」をお届けするために・・・

地域おこし協力隊の倉留亜季です。桜川市に来て6月20日で1年を迎えます。

私のミッションは加波山市場の運営ということで、加波山市場に常駐しております。直売所では、地域の新鮮な野菜や特産品を販売し、地域の生産者との協力関係を築いています。直売所の2周年イベントでは、ねねちゃん家のミニトマトの試食を実施しました。その結果、試食を通じて美味しさを実感し、ミニトマトを求めて直売所に訪れるお客様が増えました。地元の農産物への関心が高まったことで、地域の生産者への支援にも繋がっています。

今後の展望として試食の頻度を増やしたり、レシピや栄養素のポップを増やすなどの取り組みを計画しています。

これにより、お客様が美味しい野菜を手に取りやすい環境を整えることを目指しています。

地域の農産物の魅力をお伝えし、地域振興に貢献をしていきたいと考えています。

今後も試行錯誤しつつ努力し活動を行っていきますので、ご協力いただければと思います。地域の魅力を一緒に高め、お伝えしていきましょう!!

「1,200年の古刹で貴重な体験」

～花まつりのお手伝いをして@椎尾山薬王院～

4月8日はお釈迦さまの誕生日をお祝いする「花まつり」、桜川市の真壁町椎尾地区にある薬王院でも、護摩炊きのご祈祷が執り行われました。今年は筑波大生の落語の奉納、キッチンカーの出店など新しい試みもされ多くの参拝客が楽しんでいました。

私は住職の入場エスコート（写真→）や駐車場の整理などのお手伝いをさせていただきましたが、桜川に住んでいるからこその貴重な体験となりました。

実は住職は私と同じ東京からの移住組（もちろん私よりはるか以前から移り住んでいる移住の大先輩です😆）で、何かと気にかけていただいています。そもそも初めて桜川に来た際、早朝ふらりと寄ったこのお寺で、ご子息の副住職と親しく会話したのが、この町への移住の決め手になりました。ここに住めば東京では味わえない日本の心が経験できそうだな、と・・・

桜川には歴史のある素晴らしい寺社が他にもたくさんあります。是非、市民の皆さんもこのような由緒あるお寺で長年続いてきた行事に参加することをお勧めします。生まれ育ったこの土地をもっと好きになると思いますよ。　（三村）